

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102500
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ西陵
所在地	鹿児島県鹿児島市西陵5丁目12番4号 (電話) 099-282-2497
自己評価作成日	平成29年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングの大きな窓より光が良く入り、職員、利用者共に明るい雰囲気の家である。また、利用者を人生の先輩として尊敬し、時には家族のように接し、利用者が安心して、穏やかに生活が送れるように支援を行っている。また、利用者中心のケアに心掛け、利用者の「出来ること」を伸ばし、一緒に家事参加やレクリエーションなどを行うことにより、利用者の「出来ること」を一つでも多く見つけていくことに力を入れている。また、職員の入れ替わりがほとんどなく、信頼関係の構築もできており、利用者、ご家族共に安心して過ごしていただけている。地域との交流として運動会や文化祭見学などの学校行事の見学や、子供みこし、おはら祭りの踊り連がホームの目の前で踊っていただいたり地域の方のご協力をいただけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体法人の老人保健施設やグループホームに隣接して建てられており、医療面や災害時の協力体制が整っている。
- ・地域行事への積極的な参加と地域ボランティアの受け入れ、敷地内に警察官見回りコースポストが設置されるなど、地域との交流が盛んである。
- ・ケアにおいて利用者一人一人のできる事を大切に考え、パズルや計算問題・習字・詩吟など、趣味や生きがいのある自立に向けた支援を行っている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを大切にしながら資格取得に向けて研修会や勉強会を開催、離職者も少なく職員にとって働きやすい環境となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の中に地域の中で支えていくとの文言があり、全職員が利用者が安心して生活できるよう支援していくことを念頭に置いている。	理念は、玄関やホールへ掲示し毎朝のミーティングで唱和している。パンフレットにも掲載し、理念に沿った事業所の年間目標を掲げ、職員会議等で振り替えりを行い、理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加しており、運動会、夏祭り、文化祭などの行事に参加している。廃品回収などの行事にも参加し交流を図っている。	町内会に加入し、清掃ボランティアや廃品回収・地域会議等に積極的に参加している。学生の職場体験学習やボランティアの受け入れも行っている。散歩や買い物時のあいさつや会話など、日常的な交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議へ民生委員や町内会長などの方々に参加していただき、認知症についての勉強会などを実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の方々や地域包括支援センター職員の方に参加していただき、ホームの現状や行事活動の報告、意見交換を行いサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、入居者の状況報告や事業所の行事や活動報告・外部評価の結果報告・地域の状況・認知症についての意見交換などを行っている。年1回、運営推進会議後、忘年会として交流を持っている。出された意見で、外出の際の手伝いの申し出があつたり、退居後の系列施設の紹介や調整の説明をして安心してもらう等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センター主催の地域ケア会議への参加や入居希望者の紹介をいただいたりと連携が取れている。また運営推進会議を通して事業所の実情などの報告を行っている。</p>	<p>市担当者には、更新時や必要に応じて電話や窓口に出向き、相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、介護相談員の受け入れもおこなっている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月身体拘束委員会を行い、身体拘束にあたる行為や弊害についての研修を行っている。また、全職員で身体拘束ゼロに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会で、マニュアルに沿って研修会を実施し、事例検討会などで職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間で連携を取り合い支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止マニュアルの作成や虐待についての研修を行い、全職員が虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修を通して権利擁護に関する制度について勉強行っている。制度利用の希望があれば活用していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結、解約、改定時の際は十分な説明を行っている。利用者家族へも不安や疑問点などがありましたら、いつでもお聞きくださいと声かけ行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御家族の面会の機会にご意見を伺ったり、外部評価の家族アンケートを参考に意見の把握に努めています。また、忘年会の後に家族会を実施し意見交換会を行っています。</p>	<p>利用者からは、日常の暮らしの中で意見や要望を聞き、思いを把握している。家族からは面会や忘年会を兼ねた家族会、電話などが意見を聞く良い機会となっている。一人ひとりの「西陵だより」で近況報告をし、返信もある。大正琴を弾きたいとか生活リハビリ強化の要望・「天声人語」の書き写しを続けたいなど、利用者の習慣等の情報を職員で話し合い、楽しみに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングに意見交換の場を設けている。また、管理者が随時職員より意見や提案を受けつけ、代表者に報告し運営に反映していただいている。</p>	<p>管理者は、ミーティングや毎月の職員会議等で意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。申し送りノートで情報を共有している。提案により、浴室の洗い場のタイルが滑りやすいので、安全対策を検討している。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>研修や勉強会へ参加した職員への賞与査定や資格手当など各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修費用を法人内での研修会や国家試験対策の勉強会など研修を受ける機会を機会の確保により、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡評議会あり、認知症に関する講演会、行政の主催する会などに参加させていただき勉強しています。また、法人内での交流を通じて、サービスの質の向上に役立っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話しをよく傾聴する事によりご本人の気持ちを引き出すように努めている。また、他利用者との橋渡しを行うことで、周りの利用者との関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が施設利用を考えたいきさつや不安なこと、要望などを傾聴し、利用者にとってどんな生活が望ましいかを一緒に考えていけるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容によっては、他の介護保健サービスや施設の紹介も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることはゆっくりと見守りながらしていただき、ともに生活する一員としての関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時に、ご本人の近況報告などを行ったり、ご家族とのゆっくりとした時間を過ごしていただけるように配慮している。また、一緒に外出の機会を設けて頂いたりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後もご本人のお友達や知人の訪問があり、交流の支援を行っている。	馴染みの友人知人の訪問を奨励し、面会者が多い。面会時にはお茶を出して面会に来やすい環境づくりに努めている。電話の取次ぎや年賀状作成の支援、馴染みの美容室利用や買い物・散歩など、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。家族の協力外出や外泊・外食・墓参・理美容院利用などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にテレビを見られたり、談話されたりとお互いに顔なじみ、お友達関係が築けている。また、交流が難しい方へは、職員が橋渡しとなり関係性の構築に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了時に、いつでも相談に来てくださいとお伝えし、相談があれば応じています。また、退去先へ面会に行きご本人の様子を見に行ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日のケアの中でご本人の気持をお聞きしている。また、困難な方は、表情などを読み取り、本人本位に検討している。	入居時のアセスメントや家族・面会者からの情報、日常生活での会話や表情・しぐさから汲み取り、思いに沿ったケアを心がけている。意思疎通が難しい場合は、家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居後もご本人やご家族などから情報をいただき、これまでの生活の状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝のバイタルチェック時に心身状態の把握も一緒に行っている。出来ることはしていただき個々の過ごし方を尊重している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の状況などを職員同士話し合い、本人や御家族の要望を取り入れながら、チームとしての方向性の明確なケアプラン作りに心掛けている。	本人や家族の希望や意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日個別記録に気づいたことなどを記入している。また、毎月ケアカンファレンスを実施し情報の共有行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>訪問理容の活用やフットケア、訪問マッサージ、歯科往診などの活用など、本人やご家族の意向を伺い対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>介護タクシーの紹介により車椅子の方でもご家族との外出が楽しめるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族の希望を大切に納得が得られたかかりつけ医やその他の医療機関とも連携し、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医は本人や家族の希望で、ほとんど協力医療機関が主治医となっている。協力医療機関の受診や歯科の往診も受け入れている。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診結果は家族と共有している。緊急の対応などに連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>母体である田上記念病院の看護師へ相談し、助言をいただいている。また、夜間や休日などは医師とのホットラインがあり、すぐに対応していただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際、入院の経過やご本人の状態などをお聞きし、可能ならば、早期退院にむけて病院関係者と相談、連携を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化等により医療管理等が必要となった場合は、事業所で出来ることを十分に説明し、ご家族や医師と相談し、ご本人の希望を尊重した上で、ご家族、医師、看護師と連携をとり支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、家族の意向を確認し、医師や看護師と連携して家族の意向に沿った対応を、法人全体で取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に1回応急手当や初期対応についての研修を行っている。また、職員間で緊急時の対応方法など話題にし緊急時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間帯を想定し年2回の避難訓練を行い、全職員が避難方法などしっかりと身につけている。また、周りの施設とも連携がとれている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置が設置されている。地域住民の見守りもある。非常時に個人の情報等も整備し、水や米・カップラーメン・乾物等を備蓄している。カセットコンロなどの備品もある。法人全体の連絡網があり、隣接事業所からの緊急時の協力体制も整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドやプライバシーには十分に配慮し、ご本人を人生の先輩として尊敬した言葉かけや対応を行っている。	マニュアルに沿って、定期的な研修会を開催し、職員の資質向上に取り組んでいる。入室時や入浴・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮や言葉かけ・対応に十分注意している。名前は「さん」付けで呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者との信頼関係を築き、ご本人が気軽に思いや希望を表せる関係性を築いている。また、傾聴することにより本人の希望を引き出すよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度規則正しい生活の中で、個々のペースに合わせてご本人の希望にそった支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ヘアカットに来所していただき希望を聞きながらカットしていただいている。日々その方の好みに合った服装などの支援に心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と一緒に野菜の皮むきや味見、配膳、お盆ふき、台拭きなどしていただいている。</p>	<p>嗜好調査を基に専門の調理スタッフが旬の食材で、利用者の嗜好に配慮した献立を作成している。食事形態の工夫も行っている。職員と一緒に食事の下ごしらえや台拭き・配膳などを手伝っている。月1回、ケーキを作ったり、行事食・弁当持参での花見・ソーメン流し・家族も一緒の外出など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量を記録することで健康状態が把握できるようにしている。また、食事形態の工夫や好みの飲み物などの提供により栄養、水分量の確保を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアを実施している。また、ひとり一人の状態に応じ支援方法を変えて実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとり一人の排泄パターンや習慣を全職員が理解し、時間の間隔などをみながら、声かけや支援を行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、さりげなく声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。蒸しタオルで清潔保持に努めている。個々人に合わせて、排泄用品を検討している。食材の工夫や運動等で排泄の自立を支援している。寝たきりの利用者以外はリハビリパンツとパットを利用し、トイレでの排泄、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲んで頂いたり、排泄チェック表を活用し、便秘がつづいている方には水分を多くとっていただいたり、廊下歩行等の運動の声かけを行い便秘の予防に努めている。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の曜日は決まっているが個々の希望に応じて対応している。入浴を楽しめるように入浴の順番やタイミングなどを工夫している。	入浴は温泉を使用し基本的には週3回、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。拒否のある利用者については、声かけの工夫や時間調整など、職員間で連携して状況改善に努めている。必要時には清拭や足浴なども行っている。それぞれがシャンプーやリンスを準備し入浴が楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>必要に応じ、日中でも休息の時間を設けるようにしている。夜間に眠れない方には、しばらく付き添い安心して眠れるように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ミドリ薬局の薬剤師より居宅療養管理指導を行っていただき、薬の変更や追加があった場合は副作用等の説明を受け全職員へ申し送っている。また、服薬支援と症状の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎朝の居室の掃除機がけや野菜の皮むき、洗濯物たたみなど家事参加されている。また、パズルや体操などのレクリエーションへ参加されている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>暖かい日は買い物や散歩など個々の希望に沿って実施している。また、地域行事への参加や定期的な外出行事を行っている。</p>	<p>日常的に天気の良い日は事業所周辺を散歩したり外気浴を楽しんでいる。個々人の希望で、買い物やドライブで自宅付近に出かけたりしている。年間計画を立てて、地域の行事や花見・ソーメン流し・水族館等に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参・理美容院への支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理のできる利用者は、ご本人でお金をもたれている。また、一緒に買い物に行きその中から支払いをされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自由に電話や手紙のやりとりができる支援を行っている。ご自分で携帯電話を持ち自由に電話をされている利用者もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下に花や飾り付けを行うことにより、季節感を感じるような環境作りを行っている。また、夕方など光が強く差し込む時は、カーテンを部分的に締めたり、温・湿度計を確認し温度や湿度管理を行っている。</p>	<p>共用空間は、円形の大きな窓から街並みが見える。換気や温度・湿度に配慮し加湿器や温度計を設置し空調管理が整っている。カーテンで光の調節もしている。ピアノや鏡台があり、利用者の習字の作品や季節の花・手芸品・写真等が飾られ、畳スペースもあり、ゆったりとした椅子を配置し、居心地良く過ごせる環境となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内の畳スペースやテレビ前にソファを配置し、利用者同士で思い思いに過ごされている。また利用者同士の相性を考えた椅子の配置などに心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の使い慣れた物や好みの物を飾り、ご本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室はベッドやタンス・洗面台・エアコンが備え付けである。ドアも半透明となっており明るい。それぞれが寝具やテレビ・テーブル・いす・時計・仏壇等を持ち込み、花や写真・手芸品等が飾られ、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、浴室、トイレなど手すりが取り付けてあり、立位や移動の自立に繋がっている。また、トイレや浴室、居室に分かりやすいように、表札を取り付けている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない